

笑心の郷 だより

令和2年4月号

〒707-0421
美作市川上30-1
多機能型介護ホームえーる
TEL 78-0555
多機能型介護ホームはーと
TEL 78-0558
デイサービスセンターどりーむ
TEL 78-0557

基本理念：あなたの笑顔と夢を わたしの笑顔と夢で 心を込めて応援します

どりーむ

3月3・7日に「ひな祭り会」を行いました。3日は午後の会に向けて、三色団子作りと桜の花作りに分かれて皆さんにもお手伝いをして頂きました。三色団子作りの皆さんはお団子を丸めるのも手慣れたもので要領よく手を動かされて、あっという間に三色団子が出来上がりました。「こんなのでええん?」「まだあったら手伝うで。」と余裕でお話されていました。

桜の花作りの皆さんも和気あいあいでお話されながらもしっかり手は動いており、どりーむフロアが華やかになりました。午後からは「キックでポン」ゲームです。ひし餅に見立てた段ボール箱に丸めた新聞紙をたくさん入れておき、足を使ってどちらが早く新聞紙を穴から出すかを競うゲームです。日頃足先を使う事も少なくなっており、リハビリを兼ねたゲームに挑戦して頂きました。皆さん綺麗に丸めてない新聞紙にてこずり「こりゃ、そりゃ。」との声もあり、綺麗に丸めていない新聞紙にリハビリ効果もプラスされ笑顔で楽しまれていました。また、職員が新聞紙を片付けていると皆さん率先して片付けのお手伝いをして下さり、皆さんの優しい一面に心を打たれました。最後は、「うれしいひなまつり」の歌や春にちなんだ歌をうたい、甘酒や手作りの三色団子を食べて楽しく笑顔で過ごされました。



えーる

三月二十一日・二十四日にひなまつり会をしました。はじめに、ひなまつりの由来を職員から説明しました。諸説ありますが、中国で行われていた「上巳(じょうし)の節句」が日本に伝わってきたという説が有力だそうです。もともとは邪気や厄を払うための行事で、人形に自分の邪気をつつして川に流すという「流しびな」が行われていたそうです。利用者の皆さんは職員の説明に「へえ、そうなんか」とか「そりゃ知らなんだなあ」とか興味深そうに聞いておられました。そして春にちなんだ歌を利用者の皆さんと職員でうたいました。「うれしいひなまつり」「春が来た」「花」など楽しい歌声が響きわたりました。

次に二チームに分かれて玉入れ競争をしました。三人官女と五人囃子の中の玉を入れる競技です。皆さん一生懸命にめがけて球を入れて「あー、しんどい」と言われながらも体を動かして楽しいひとときを過ごされたようです。素敵な笑顔がたくさん見られました。三時のおやつには、職員手作りの桜餅をいただきました。桜の葉に包まれたピンク色の桜餅は大好評で「おいしいなあ」と皆さん完食され、喜んでいただきました。



今月のお食事

今回のメニューは、お彼岸の日なので「ぼた餅」を作りました。ぼた餅、高野のそぼろ煮、切干大根のサラダ、豚汁などです。

ぼた餅は邪気を払う食べ物としてご先祖様に供えたそうで、春は「牡丹餅(ぼたもち)」、秋は「御萩(おはぎ)」と言い、形やあんの作り方も違うそうです。



三月六日と九日、はーとではひな祭りの行事を行いました。だんだんと温かさが増し梅の花も満開になり、女の子の節句を懐かしく思われる方も多くおられたようでした。はーとでは本物のお雛様を飾る代わりに、利用者様にお雛様とお内裏様になっていただく事にしました。題して「ひな祭りおもしろ仮装大会」です。利用者の皆さんにどちらかの衣装を着て頂き、くしを引いて金髪やアフロヘヤーなどを被っていたりゲームです。衣装や扇子、桃の葉などは職員の手作りです。みんな頑張りました。最初は恥ずかしがっていた方も思いのほかまんざらでもない様子です。金髪も茶髪もけっこう似合っています。職員も負けじとハゲ頭を被ったり、アフロになったりにぎやかです。写真を撮る時には「コリとハイポーズ。皆さんとてもかわいらしく微笑ましいひとときとなりました。その後、職員手作りの桜色の八つ橋をいただき、これまた春を感じる事が出来たのではないのでしょうか。



はーと

